

「みのむしポカポカ」暖房作戦

【発案者】前本 昭雄さん（74歳）【熊本県】

県応募「みのむしポカポカ」暖房作戦の概略図

1. 某日の11月初頃に、厳冬に備えて必死に身支度（暖房対策）をする「みのむし」を見た。



（左写真は、無料クリップアートより引用）

- ① 身の丈以上の防寒着（枯葉など）は、身に着けない。
- ② つまり、ムダな空間を温めることはしない。



ヒント：我が家も「みのむし」から学ぼうと決意した。

2. 私が実施したこと



1. 廃品回収寸前の毛布を再利用（REUSE）
2. 毛布で袋を作り、最も冷える足先と腰をカバーする
3. 袋の底部片端にアンカのコード線用の穴を設ける



1. 袋中の底部にセットするアンカは、その暖房効果を増すため、新聞紙を二つ折してその間に、挟む
2. 温かさ温度を確認するため温度計を



- 1 実際の本アイデア実施中の写真
2. 足元から腰までがポカポカと温かい
3. 上半身は、厚手の衣類でカバーする
4. この状態で、テレビ観戦、読書、新聞、編み物など快適生活を確保できる

3. 効果

- 1) 初期費用は、アンカ2個購入のため960円（@480円）のみ。
- 2) 電気代は、エアコンに比べ電気使用量は1/10、電気代は約3,500円/月、冬季3ヶ月で約10,000円の削減
- 3) 初期費用960円は、約10日間で元を取ることになる

アイデアの特長や アピールポイント

1. 厳しい冬の寒さ対策として、蓑虫(みのむし)から学ぶ点が多い。
2. それは、自分の体の大きさ(サイズ)だけの防寒着(枯葉など)を身につける術である。
3. 某日、某所で葉が色付き、落葉している柿の木の枝に1本の細い糸で吹く風に身を委ねて、必死に防寒着作りに努力している蓑虫にヒントを得た。
4. 我が家の防寒対策は、居間(22畳)の暖房としてエアコンを使っており、省エネタイプでしたが電気代がバカにならなかった。
5. 廃品回収に出す予定であった毛布を改造し、家内と2人分の袋(足先から腰付近までをカバーする)を作り、足元に60Wの電気アンカをセットし、暖房対策とした。
6. その結果、足先から腰部までポカポカの温かさを確保でき、上半身は厚手の衣類を身に着けることにした。

アイデアのびっくりポイント

1. 投資は、廃棄寸前の毛布を再利用(REUSE)でゼロ円、アンカ60Wを@480円×2個=960円のみである。
2. 電気代は1日6時間使用で、約14円/日、月約420円、(60W×6H/日×0.7×2人=504W/日、月約15kw、27円/kwとして月間電気代は408円)となり、エアコンの電気代(月間総使用量500kwの30%として150kw)の約1/10となり、金額換算としても約3500円/月の削減となった。

このアイデアが実現したら？

・2016年から実施

審査員からの講評

すでに実践されていて素晴らしいです。ユーモアがあって、ミニこたつみたいな感じで、誰もが楽しく簡単に実現できる良いアイデアだと思います。引き続き続けて頂き、周りにも広めて頂けたらと思います。奥様のご感想も聞いてみたいです。

LOOK・BIKE・PARK!!

[発案者] 人吉市立第一中学校 3年4組6班さん [熊本県]

公園の街灯を自己発電にする。

公園を利用する人(特に子供)が、公園に備え付けの自転車とこいで発電する遊具で昼の間にそれをこいで電気を蓄電しておく。



昼にこいで蓄電したものを
夜暗くなるとから使う。
(CO₂削減)

アイデアの特長や アピールポイント

公園で夜に使用される街灯を自分たちで発電する。
子どもたちの遊具の一つとして、専用の自転車をこぐ。
また、街灯の色をカラフルにして、色々な色の街灯にして楽しんでもらう。

アイデアのびっくりポイント

街灯がカラフル。遊具の一つとして楽しめる。

このアイデアが実現したら？

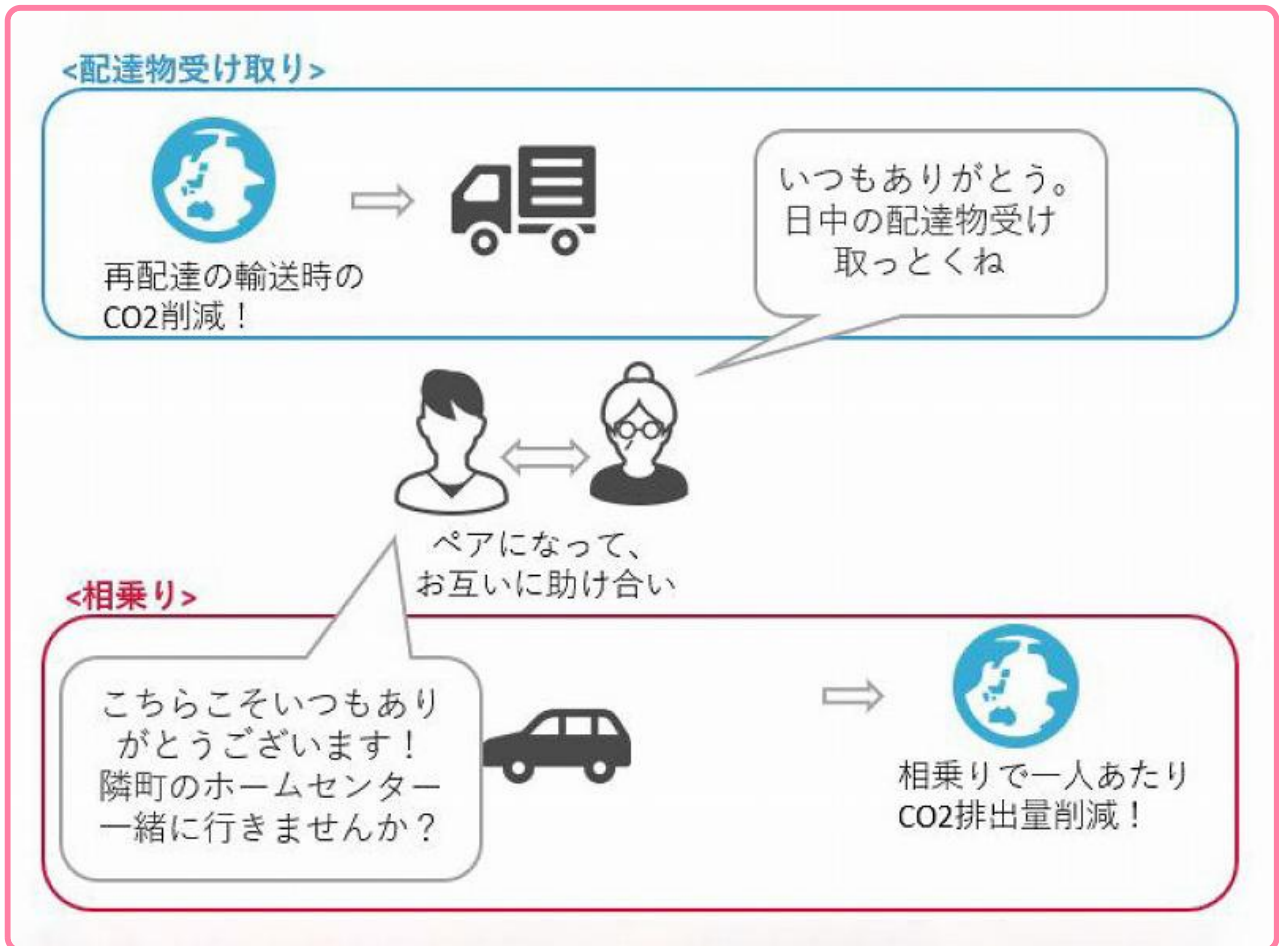
無駄な電気を使うことなく、CO2削減につながると思う。

審査員からの講評

いいですね。子供達が実際に貢献していることを目に見える形にすることによって、さらにエコを考えるきっかけになるかもしれません。綺麗でしょうし、面白いと思います。

若者と高齢者の助け合いでCO2削減！

【発案者】 寺村まどかさん（早稲田大学 修士2年）【埼玉県】



アイデアの特長や アピールポイント

このアイデアは、地域内の知り合いの高齢者と若者がタッグを組んで、それぞれの生活スタイルの強みを組み合わせることでCO2削減を地域内のみんなで目指すものです。まず、若者は高齢者に相乗りを提供します。これによって個人の自家用車によるCO2排出を減らすことができます。高齢者は若者に、代理で配達物を受け取ります。これによって運送会社が再配達する必要がなくなり、再配達の際に排出されていたCO2を削減できます。

アイデアのびっくりポイント

このアイデアは、若者・高齢者双方の生活スタイルの強み・弱みを組み合わせている点が新規性です。若者は認知能力が高く、免許返納もしていないため車を運転できますが、仕事などがあり、配達物を受け取ることができません。これに対し、高齢者は免許返納などで移動に不具合を抱えているものの、家にいる方が多く、配達を代理で行うことは可能です。この双方の強み・弱みをかけあわせることで双方に助け合う仕組みを作れる点が従来にはなかった地域内の助け合いの仕組みです。

このアイデアが実現したら？

このアイデアが実現すれば、再配達の際に排出されていたCO2をなくすことができ、相乗りによって一人が排出するCO2を削減できます。また、近年増えている一人暮らし高齢者に対し地域内で包括的にサポートする仕組みづくりにもなり、地域で若者・高齢者がお互いに価値提供しながら地域活性化することが可能となります。

審査員からの講評

エコだけでなく、超高齢化社会ではマストだと思います。車からのCO2排出は、特に地方部では、大きな排出源になっているため、実現したら効果は高いです。ITなどを使えば意外と実現するかもしれません。是非ビジネスにしてみてください！

電気消費量削減アプリ「Stop CO2」

【発案者】人吉市立第一中学校 3年4組4班
大瀬さん・梅本さん・小川さん・瀬戸さん [熊本県]

CO₂の発生源として電気の使いすぎがあげられます。

そのため、スマホアプリにしたプロジェクトを考えました。

家族、学校、仕事場でとりこめるものです。(家族、学校、仕事場などの選択あり)
まず、1日の使用量をスマホで記録できるようにし、1か月の平均を出します。

次に、レベルを決めます。

例) Lv.1 50%減
Lv.2 55%減

レベルを選択し、1か月の平均の〇〇%減を目指し
節電にとりこみます。

1か月の平均を達成したら、ポイントが上がります。

※ポイントは、レベルによって異なります。

最後に、ポイントが100ポイント達成したら商品クーポン券や図書カードなどをプレゼントします。

例)

Lv.1 ... 3ポイント
Lv.2 ... 5ポイント
Lv.3 ... 7ポイント
Lv.4 ... 10ポイント
など

アイデアの特長や アピールポイント

このアイデアの特長は、家族ぐるみ、仕事ぐるみ、学校ぐるみで取り組むことができる
ところです。一人だけでは続かない人でも全員であることによって達成できると思
います。達成したら、「次もがんばろう!」という気持ちになり持続性につながります。

アイデアのびっくりポイント

たくさんの方が取り組むことにより、自然と県全体の削減ができる場所です。

このアイデアが実現したら？

CO2削減にもつながり、経済も回ると思います。

審査員からの講評

イギリスではすでに行われていますね。エコでポイントの考えは効果が見込めると思います。日本でも提案している方はいますが、それほどは広がっていませんので、どうやったら広まるか、追求して頂けましたらありがたいです。

くまもとエコボス宣言で排出量大幅削減！

【発案者】 高本あいさん（勇志国際高校 3年）【熊本県】

アイデアの説明

【エコボス宣言を行うことで得られる5つのメリット】

- ①組織のリーダーが宣言を行い組織内外へ強くアピールすることで組織のメンバーが一つになり、また組織への評価アップにつながる
- ②具体的な目標値を定めることで、達成までの計画と実行がスムーズになる。また公表や自治体等も交えた評価・振り返りを行うことで組織のモチベーションが保たれ持続可能な取り組みになる
- ③組織内での教育を通して組織のメンバーの環境意識を高めることで、メンバーそれぞれの家庭でのCO2排出量の削減につながる
- ④各組織が県の宣言と組織の宣言・取り組みについて発信することで、これらを県民に広く周知でき地域ぐるみでのCO2排出量削減につながる
- ⑤他組織との連携・協働が刺激となり、さらに排出量削減を加速させる新しいアイデアやイノベーションの創出につながる

アイデアの特長や アピールポイント

県内自治体・民間企業等の組織のリーダーが、CO2排出量削減を宣言することで組織だけでなく地域ぐるみでの排出量削減と環境意識向上につなげるほか、組織と地域の価値と持続可能性を高める

【リーダーの宣言内容】

リーダー(ボス)は以下のことを行うことを宣言する

- ①2050年までの組織からのCO2排出量削減目標を宣言
- ②毎年削減目標の決定と排出量測定を実施し公表・自治体等も交えた評価・振り返り→来年へ生かす
- ③組織内での教育(組織や組織の属する業界からのCO2排出量や取り組みについてなど)
- ④組織外への発信(商品・サービスそのもののほか、メディアや公式サイト、SNS、を通して県の2050年CO2排出量ゼロ宣言と組織の宣言・取り組みについて広報)
- ⑤他組織との連携・協働(エコボス宣言をしている組織間でCO2排出量の削減状況や取り組みを共有、また大学等とも連携し学生による取り組みの評価や意見交換)

アイデアのびっくりポイント

県の温室効果ガス排出量の部門別内訳をみると、おおよそ家庭内：家庭外＝2：8となっており、大部分を占める家庭外、つまり工場や職場や学校などでの排出量を優先的に減らす必要があると考え、そういった組織を動かすリーダーの意識が変わることで、組織全体でのCO2排出量削減につながると思いこのようなアイデアになった。

このアイデアが実現したら？

データを基に、より効果的にCO2排出量の多い部門から大幅削減できるという点と、リーダーの宣言によって組織のメンバーとその家庭、地域、そして熊本全体で環境意識が向上しCO2排出量削減につながるという点。

審査員からの講評

「よかボス」宣言のエコ版ですね。エコに対する意識が企業間でバラバラですので、組織のトップがコミットすること、とても重要です。これが多くの組織で実際に行われるような工夫についても考えて頂いて、是非具体的に進めて頂けたらと思います。

太陽光発電授業

[発案者] 金守佑樹さん (25歳) [三重県]

アイデアの説明

緊急時の避難所の電力確保が安定しCO2排出量も減らせる

アイデアの特長や アピールポイント

学校の実験の授業でソーラーパネルを取り付けて発電する授業を取り入れる

アイデアのびっくりポイント

学校の授業で毎年発電する量が増えていく設置する場所は学校だけじゃなくて街全体でもいい

このアイデアが実現したら？

いずれ町全体が太陽光発電になる教育費が住民全体に還元される

審査員からの講評

実際にいわきで学校向けの太陽光発電工作キット+充電電池で夜の読書灯を作っている島村守彦さんがいらっしゃいます。熊本も含めて全国でも導入されている自治体が増えておりますので、熊本でもさらに広げて頂きたいですね。

OFF暖化ゲーム～みんなで遊んで「温暖化」を「OFF暖化」しよう

【発案者】かまきりチーム(エコクラブ)さん (千葉県大網白里市立大網東小学校 3年、1年)

【千葉県】



「OFF 暖化ゲーム」

～みんなで遊んで、「温暖化」を「OFF暖化」しよう～

♪楽しみながら CO2 ゼロを考えよう♪

ステップ①: 「OFF 暖化ゲーム」を作ることを多くの人に伝える。

ステップ②: 「OFF 暖化アクション」を広く募集する。(アクションについて考える機会となり、多くの人が話し合いや調べ学習をする。)

ステップ③: OFF 暖化カードを作成する。

ステップ④: 遊びながら「OFF 暖化アクション」を学ぶ。

ステップ⑤: 気付かぬうちに「OFF 暖化アクション」に取り組んでいる。CO2 ゼロに!

「OFF 暖化アクション」のアイデアは多くあるはずです。みんなでアイデアを集めれば、色々なアクションに気付くことができます。かまきりチームも話し合いや調べ物をたくさんしました。



<カードデザイン(案)>

かまきりチームで26の「OFF 暖化アクション」を考え、カードを作成しました。対になる2枚のカードを合わせると「OFF 暖化アクション」が完成します。対のカードを合わせることで、「神経衰弱」や「ばば抜き」のルールで遊ぶことができます。



楽しみながら学べるゲームを作ってCO2ゼロを目指そう!
CO2ゼロ、温暖化防止について考える人が増えてほしいな。

アイデアの特長や アピールポイント

気軽に、CO2ゼロアクションを学ぶことができます。みんなでアイデアを考える、調べる、カードを作成する、友達と遊ぶ、など楽しむことができます。調べてカードを作ること自体が、CO2ゼロアクションとなります。かまきりチームはいとこのお姉ちゃんも誘って、仲間になりました。一緒にカード作り、楽しそうでした。

アイデアのびっくりポイント

「温(ON)暖化の反対はOFF暖化だね」の一言で「OFF暖化ゲーム」になりました。みんながすぐに遊べるように、みんなが知っている簡単なルールで遊べるカードゲームです。

このアイデアが実現したら？

みんなが遊びながら、気付かぬうちに、CO2ゼロの行動をしちゃっているかも。

審査員からの講評

子どもの頃からエコを意識するには素晴らしいツールだと思います。「Off暖化」という言葉の発想、面白いですね。ゲームで知ったことが実際のアクションにつながる工夫もお考え頂けたらと思います。子どもの頃からエコを意識するには素晴らしいツールだと思います。

それぞれ1個CO2削減をしよう！

【発案者】北尾 香都さん（熊本高等専門学校 1年）【熊本県】

- ☆ 冷房の温度を1℃上げ、暖房の温度を1℃下げよう。
 - ☆ 家電製品を長時間使用しないときは、主電源を切ろう。
 - ☆ シャワーを使わないときは、かり止める。
- 学校の活動やボランティアで木を植える。

アイデアの特長や アピールポイント

家でできることや学校で強制されることなので、だれでもできる。一つ一つは小さいことだけど、全員がやればとても効果がある。小さなことからこそ、「やってみよう！」という気持ちにもなりやすい。

アイデアのびっくりポイント

目的はCO2削減だけれど、お金の節約にもなる。3つのことをするだけで、年間1万円ほど節約することができる！

このアイデアが実現したら？

家庭での取り組みなので、子どもへの節約の教育にもなる。日本国民全員とはいかずとも、多くの人意識すると排ガスの量はとても削減されるのではないだろうか。

審査員からの講評

すでにエコのチャレンジを促すためのアンケート調査を通じた活動が多くなされていますので、そちらもご覧になりつつ、さらなる活動つながるように進めて頂けたらと思います。

トレーはいらん隊！

【発案者】大田黒 尚美さん（45歳）【熊本県】

アイデアの説明

食品にもれなく付いて来てしまう将来ゴミになってしまう食品トレーと付属品...私達消費者がいくらゴミの分別等を頑張っても、ゴミになってしまう量は減らせません。まずはお店で販売する時点でゴミになる物を減らして販売してもらえたら自然とゴミの量は減ります！

アイデアの特長や アピールポイント

昨今、肉、魚の陳列棚にはなくてはならない食品トレー。お肉を薄く綺麗に並べて、ドリップが出ないように吸水シートを引き、プラスチック製の菊の花やコピーされたパセリやレタスの飾り...確かにトレーに入れた方が見栄えはいい。しかしトレーはなんせかさばる...エコバックを使い初めてから特にトレーは場所を取る気がする。くるりポイなんて言葉を耳にする。精算を済ませてすぐ袋に詰める段階でトレーをお店で捨て中身だけラップなどに包み持ち帰る行為...つまり...私達消費者の中にはトレーは必要でないと考える人も少なくないのでは？と思う。製品の見た目にはこだわらず、少しでもゴミが減らせるなら、ただのビニール袋に入っている食品を私は選ぶと思う。つまり、従来通りトレー入りとエコを考えたトレーなし商品の二通りの展開をお店側をお願いしたいのです。

アイデアのびっくりポイント

ビニール袋入り商品も置いていただけたら、まずくるりポイする人も減ります。トレーの使用量も減ります。陳列に必要な場所も少なくてすみます。エコバッグの中もかなり省スペースで済みます。家庭ゴミが減ります。お肉など綺麗に並べる作業が省け、人件費、トレー代が削減出来ます。(お店側にもメリットがあります。)

このアイデアが実現したら？

トレーなし商品を購入いただいた方にはお店のポイント進呈はどうでしょう？

審査員からの講評

衛生面で問題視する声もありますが、真空パックとの選択肢は広がっているようです。トレーを紙製にしたり、再生する動きも加速化していますので、県民に広げていきたいですね。もうちょっとオシャレにできたら、もっと広がるかも、と思いました。

節水対決 イエーイー。

【発案者】 人吉市立第一中学校 3年1組5班 節水愛好家さん [熊本県]

各家庭の1ヵ月の水道料が一番安い所に「節水家庭」を認定すると共に、来月の水道料が半額になる。

節水家庭賞
〇〇家殿
あなたのご家庭は、第一回
節水対決イエーイーにおいて、
一番水道料が安い家庭に
選ばれましたので、
これを賞する。
令和二年 12月24日 12:00.
節水愛好家

アイデアの特長や アピールポイント

皆が楽しく取り組める企画を考えました。節水は、CO2を減らせる取り組みなので、これを機会にたくさんの家庭が気軽に参加できたらいいなと思いました。また、私たちが考えた節水家庭賞ももらえるので楽しいと思います。

アイデアのびっくりポイント

一番安い水道料の家庭は来月の水道料が半額になることです。

このアイデアが実現したら？

節水する家庭が増えて、CO2が少しでも減ると思います。

審査員からの講評

コンテスト、いいですね。コンテストにすることで、意識も高まりますし、各家庭でさまざまな節水への工夫が生まれると思います。節水量だけでなく、工夫したアイデアもコンテストにして広く紹介すれば、多くの人に実践してもらえ、CO2削減への貢献度も高まりますね。